

実践検証済み
レポート

SEO対策の基礎

12通のフォローメールあり

初心者も直ぐに
実践できる

- ★ 4つの重要ポイント
- ★ 知っておいて損のない5つのテクニック /

著作権について

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意いただきご利用下さい。

このレポートの著作権は著作者に属します。

著作権者の許可なくこのレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。

著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが万一誤り不正確な情報等がございましたら、

著者は一切の責任を負わないことをご了承願います。

Copyright (c) Life All Rights Reserved

どうも、中川です。

SEO対策は巷ではいろんな情報が溢れていますが

どれも間違いじゃないし、間違っているのかもしれませんが（笑）

要は、本当のことはGoogleの一部の人しかわからない

ということです。

あまりテクニク的なことに流されずに本質だけを

知っていれば大丈夫なんです。

このレポートでは僕がSEO対策を意識して記事を

書く時のポイントをまとめていますので参考にしてみてください

ください。

1. SEO対策とは

SEO対策 (Search Engine Optimization) とは、
Google や Yahoo で検索されたときに上位表示される
ための対策のことです。

- ・このSEO対策の情報は沢山ありますが
実は本当のことは誰も知りません。(汗)
- ・知っているのは Google の一部の人しか知らないんです。

なので、あまりいろんな情報に振り回されずに基本的なことだけを知っていればOKです。

そして、1つだけわかっている確かなことは、
SEO対策は自分のためにするのではなく、
読者さんのためにする。

ユーザーファースト (Google 先生も言っています)

読者さん (検索者) にとって役に立つ有益なサイトを

作ることが1番のSEO対策になります。

このことが全ての前提になるんですね。

2. SEO対策をするメリットとデメリット

【メリット】

- ・ 1記事が何年のもわたって自動で集客をしてくれる。
- ・ 集めたいターゲット層を自動的に集客できるので
ビジネスが安定する。
- ・ 人から仕事をもらわなくてもアフィリエイト
など自分で仕事を作れる。
- ・ SEOライティングの仕事はたくさんあるので
重宝される。(SEOライターを目指す場合)

【デメリット】

- ・結果が出るまで時間がかかる。
(3ヶ月～1年)
- ・ある程度のWEB知識は必要。

メリットとデメリットを書きましたが、
デメリットを上回るくらいのメリットがあると
僕は感じています。

確かに結果が出るまでに時間はかかりますが
記事が上位表示されれば、自動で集客できるので
毎日記事を書いていくことをしなくてもいいんですね。

その分、他の作業やプライベートにも時間を使うことが
出来るようになります。

WEB知識に関してはそんなになくても、

WordPress の設置の仕方とかはいくらでも
検索して調べれば出てくるので大丈夫です。

3. こんなサイトは作ってはいけない！

【有益ではないサイトの例】

- ・情報が少なく役に立たない。
- ・ありきたりな内容。
- ・誰のために書いているのかよくわからない。
- ・記事の文字数が足りない。
- ・見にくい。

- ・全く更新されない。

【探せないサイトの例】

- ・探している人がいない。
- ・1サイト1テーマになっていない。
- ・1ページ1テーマで書かれていない。
- ・探しているキーワードが、タイトルや記事にない。

これらの逆をやっていけば自然とSEO対策になります。

SEO については情報が多すぎるので
小手先のテクニックは入りません。

勤所、急所を意識して書いた方がアクセスは集まり
上位表示されやすくなります。

(枝葉の部分は後の方でお伝えします。)

僕が実際に行っている4つのポイントを
お伝えしますので、これを踏まえて書くことで、
上位表示させる可能性が高くなります。

4. SEO 対策の4つの重要ポイント

1. コンテの質
2. キーワード

3. 文章の書き方

4. リンク

この4つのポイントを踏まえて書いた記事は
上位表示されるように僕もなりました。

順番いに詳しく説明していきます。

《1. コンテツの質》

「網羅性」、「専門性」、「分かりやすさ」を
意識して書いていきましょう。

すぐにできることは、自分が書きたい内容の
上位表示されている記事をリサーチしてみる
ことをオススメします。

そうすることで、

「網羅性」、「専門性」、「分かりやすさ」の視点から
どんな風に書かれているか分ります。

記事のパクリはNGですが、リサーチをすることで
自分が書きたい記事の方向性がわかるんです。

プラス、あなたの視点や面白さ、ストーリーを入れて
書いていきましょう。

そうすることで、「独自性」も生まれより Google 先生に
褒められますから（笑）

《2. キーワード》

キーワードを探して記事にしっかりと入れて書かないと、
せっかく書いた記事も Google から探してもらえないこと
になるのでここは疎かにせずやっていきましょう。

【キーワードを探す3つの方法】

1. 自分で考えてみる
2. ライバルのブログをチェック
3. ツールを使う

順番は上から下で行うのがいいです。

例) ダイエットのブログをしている方

1. 自分で考えてみる

「ダイエット方法」、「ダイエット失敗」、というキーワードが
思いついた。

2. ライバルのブログをチェック

ライバルをチェックすると自分で考えた
キーワードの他にも、「サプリ、筋トレ」といった

切り口の記事も書いてあることが分りました。

3. ツールを使う

キーワードプランナー

(検索ボリュームが分かる)

関連キーワード取得ツール

(関連したキーワードが分かる)

上記のサイトの検索窓に「ダイエット」と

打ち込んでみると一定以上のあるキーワードが

出てきます。

【探したキーワードの中からどのキーワードを選ぶか？】

上記の3つの方法でキーワードを探したら

どのキーワードを選んで書いていけばいいのか？

効果のありそうなキーワードを狙う（ナイスキーワード）

※ナイスキーワードは僕が勝手につけました。

ダサいですけど（笑）

なぜ、ナイスキーワードを狙っていくのか？といいますがと最短最速で、結果を出したいからなんです。

個人起業家は大企業みたいな資本（お金や時間）が足りないなので、できるだけ効果があるナイスキーワードを狙っていく必要があります。

具体的なナイスキーワードとは？

例)

食事ダイエットコーチのナイスキーワードの探し方

この場合のナイスキーワード

=====

- ・ダイエット 食事 献立
- ・ダイエット 続かない
- ・ダイエット 食事 方法

=====

逆にナイスキーワードにならないもの

=====

- ・ダイエット
- ・ダイエットとは
- ・ダイエット英語

=====

見ていただければ分りますが、

ナイスキーワードで検索した人の方が見込み客、つまり購入してくれそうだと思いますか？

キーワードを選ぶときは、お客さんになってくれそうな人が検索しそうなキーワードを選びましょう。
それがナイスキーワードです。

【探したキーワードの中からどのキーワードを選ぶか？ 2】

そしてもう一つ、ポイントがあります。

ライバルが弱いキーワードを狙う。

例) ダイエット

※ () 内は月間検索ボリューム

=====

- ・ ダイエット (3 6 8 0 0) ×
- ・ ダイエット食事献立 (2 1 0) ○
- ・ ダイエット食事方法 (1 1 0) ○

=====

「ダイエット」というような検索ボリュームが多い
キーワードを狙うのではなく、2語、3語の検索ボリュームが
小さいキーワードを狙っていきましょう。

検索ボリュームが多いキーワードは、
ライバルも強いので上位表示の難易度は上がりますので、
まずは弱いところから上位表示を狙って徐々に、
検索ボリュームの多いところも狙っていくのが正攻法です。

検索ボリュームが多いキーワード

ナイスキーワードにならない場合が結構あります。

「ダイエット」という月間検索ボリュームは36800と
かなり多くのボリュームで検索されます。

しかし、この「ダイエット」というワードで検索してくる人は

=====

- ・ダイエットってどういう意味？
- ・ダイエットを日本語でいうと？
- ・ダイエットを英語でいうと？

=====

こんな感じで検索する人もたくさんいます。

検索する人の意図がたくさんあるので

これを「網羅的」、「専門的」に書かなければ

検索上位には表示されません。

そもそも、大きいキーワードで上位表示をとるのは

難易度が高いですし、労力に対して得られるメリットが

少ないんです。

せっかく時間と労力を使って書いても

100ページ目じゃ涙が出ます（汗）

・ 検索してきた人がお客さんになりそうな、

キーワードを狙う。

・ ライバルの弱いキーワードを狙う

この2つを意識してキーワードを選んで記事に

取り入れてみてください。

※

選んだキーワードは記事タイトルに含ませた方が
SEO対策に有効になるので、タイトルにも入れましょう。

そして、キーワードはタイトルのなるべく最初に入れて
30～35文字でタイトルを作ってみてください。

《3. 文章の書き方》

記事を書く前には、上位表示されている記事を
いくつか読んでどんな内容で書かいるかリサーチを
しましょう。

Googleは読者が求めている記事を

検索上位に表示するというルールがありますので、
このルールを思いっきり活用しましょう

例)「ダイエット食事方法」というナイスキーワードで
記事を書く場合

1. このナイスキーワード を Google に打ち込んでみましょう。
2. 上位表示されている数記事をリサーチ。
3. リサーチをしたら、
 - ・「ダイエットにいい食べ方」
 - ・「ダイエット中のレシピ」
 - ・「過度な食事制限はしない」 ☆

こんな内容で書かれている記事が複数ありました。

☆印の内容は特に多かったといことがわかりました。

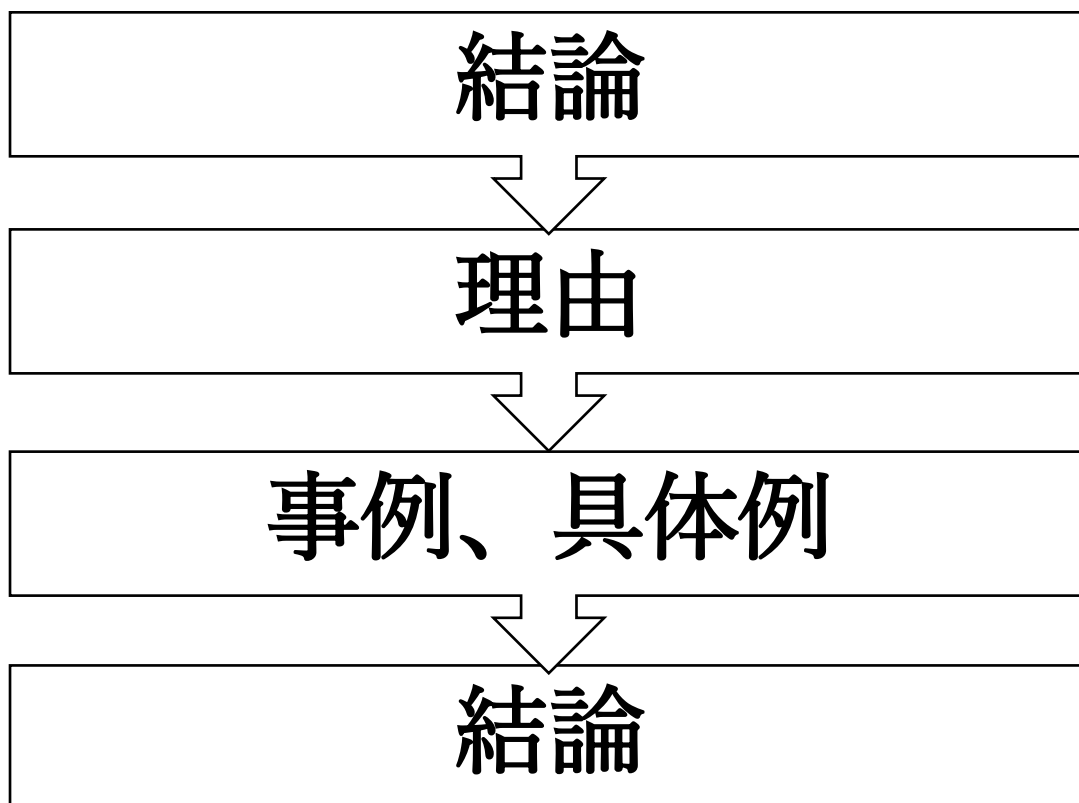
こんな感じで実際にナイスキーワードを打ち込んで
調べることで読者さんのニーズもわかるしSEO対策にも

なります。

※記事のまるパクリはダメですが、内容を把握することは
大切になります。

実際の記事の書き方は PREP 法で書くようにしましょう。

【PREP 法とは】



結論を先に書いて、次にその理由を説明し事例や具体例で理由の補強をしたら、最後にもう1度結論を書きましょう。

P=Point (結論)

R=Reason (理由)

E=Example (事例、具体例)

P=Point (結論)

この頭文字を取ってPREP法とされています。

最初に結論を書くことで、検索して訪れた読者さんはすぐに知りたいことや解決したいことがわかります。

その気持ちを考えずに結論を後回しにしたら、

「結局が何が言いたいの？」

「他の記事を見に行こう」

と思われる可能性が高くなります。

そうならない為にも、結論を先に書く

PREP法で書くのがいいんですね。

《4.リンク》

リンクには大きく分けて2つあります。

・「内部リンク」

自分のサイトの記事を紹介する。

・「被リンク」

自分のサイトが他の人のサイトで紹介される。

「内部リンクの貼り方」

自分の書いた記事に適切なタイミングで、
関連性のある記事のリンクを貼る。

内部リンクを貼ることで読者さんに自分のサイトを
巡回してもらい自分の良さを知ってもらえます。

また滞在時間の長いサイトはSEO対策にも
なりますからね。

「被リンクのもらい方」

誰かに紹介したり、されたりするには
ある程度の信頼関係が必要になります。

これはリアルの世界をイメージして貰えば
わかるかと思います。

当たり前ですが、

誠実な対応で信頼関係を築いていくことが

被リンクを貼ってもらえる第一歩です。

あまり被リンクを意識することはなく、

読者さんのために記事を書いていきましょう！

5. SEO対策に知っておいて 損のない5つのテクニック

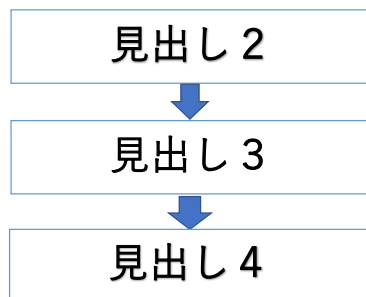
【1. 見出しにもキーワードを入れる】

タイトルや本文にもキーワードを入れるのと同様に

見出しにもキーワードを入れましょう。

だからといって無理やりに入れて文章がおかしくなったりは読者さんが読んだときに違和感が出ますので自然な感じでキーワードを入れてみてください。

(見出しの作り方)



見出しを入れるときは、見出しタグを使って階層化することで、読みやすくなりますしGoogleからも評価されるようになります。

【2. 記事のオープニングの入り方】

タイトルに興味を持って本文まで来た読者さんが

最後まで読むことはほとんどありません。

20%の人くらいしか最後まで読まないと言われて
います。

それを防ぐには記事のオープニングで読み進めて
みようと思わせることが大切です。

これら4つをオープニングでは意識して書いてみてください。

1. 記事を読むベネフィットを書く
2. 記事を読まないデメリットを書く
3. ストーリー
4. ちょっとした小咄

記事本文にいくら良いことが書いてあっても
読みすすめてもらわないことには意味がない
ですからね。

読者さんの滞在時間を上げることも

SEO対策になりますので。

【3. 内部リンクを2～3つ入れる】

リンクのところでも書きましたが、
記事を書いたら内部リンク2～3つは
入れましょう。

【4. 記事の文字数について】

記事の文字数に何文字以上書かなければいけない
という制限はありません。

答えはシンプルです。

読者さんが役に立つ情報なら、
長ければ長いことに越したことはないんです。

【5. 記事をアップデートする】

記事を書いたら、それで終わりにするのではなく、後から記事を追記したり再更新することで、Googleはこのページはアップデートされていると評価してくれます。

6. SEO対策まとめ

ここまで長い文章を読んでいただき、ありがとうございました。

SEO対策の大前提は、

読者のためにする（ユーザーファースト）

ということは忘れないでください。

このことさえ、踏まえて書ければ大きくはズレることはありませんから。

それと、もうひとつ

「SEO対策」はベストの選択ではないということも知っておいてください。

1つの集客方法として捉えておくほうがいいですね。

SEO対策はGoogleの一部の人しか知らないの
で色んな情報に振り回されないことが大切です。

SEOを極めようと思わずに、

「ある程度知っている」

というスタンスでいた方がいいです。

でも、「知らない」と「ある程度知っている」では、
大きな差がありますのでこのレポートを大いに活用して
くださいね。

中川

自動収益化の仕組みを作ることをメインに
お伝えしている無料メルマガです。

<https://lij03.info/lp1>

セールスコピーライティングの基本から応用までの
PDF レポート無料プレゼント中です。
興味のある方は参加してみてください。

